

市民を大切に 市政に 日本共産党



市議会議員

いぬい 紳一郎



市議会議員

小田 桐たかし



市議会議員

徳増 きよ子



市議会議員

植田 和子

情報漏えい、電話による取りたて激化 行政窓口も民間委託化

4月から、市税等納付コールセンターが民間委託され、委託先労働者による電話「催告」が行われることに…。

これまで当局は、税・保険料の徴収は「公権力の行使」にあたり民間委託はなじまないとしてきました。公務員には「守秘義務」がありますが委託先労働者にはなく、国会でも、「情報漏えいのリスクが高まる」と指摘されています。

税や保険料の徴収は、医療・介護・福祉につながる取り組みの一助になります。安易な民間委託をやるべきではありません。

32億円投入して確保した市有地内に、駅前、新設、音響の良い…多目的ホール。しかし、市民ではなく、市外の方や営利企業のためのホールです。

そのため、市外の方や営利企業が利用しやすいように、市内外の公共施設よりも負担感を大幅に軽減。その分、市民の利



「所得なし」「貧困の連鎖」等で悩む全市民に過大な負担…『公共』施設とはもう言えません。

市有地活用 おおたかの森ホールは 誰のための施設か

32億円投入して確保した市有地内に、駅前、新設、音響の良い…多目的ホール。しかし、市民ではなく、市外の方や営利企業のためのホールです。

そのため、市外の方や営利企業が利用しやすいように、市内外の公共施設よりも負担感を大幅に軽減。その分、市民の利

「所得なし」「貧困の連鎖」等で悩む全市民に過大な負担…『公共』施設とはもう言えません。

教育 新設小1校でも マンモス校は解消できず

小中学校は12〜18学級が『適正』規模としながらも、31学級を超える過大校が市内各地で続出し、さらにおおたかの森駅周辺では、6年後40学級前後の超過大校が4校に拡大。現場では、「休み時間の過ごし方も図書館利用も細かいルールばかり」「小学1年生だけで10学級!学年運営は無理」との声が聞かれます。県教育界が効果を認め、少人数学級の取り組みが、小学2、3年生は35人、小学4〜6年生は38人まで前進したのに、おおたかの森地域だけ国基準40人に戻す計画も。「歴史の逆戻り」との指摘も聞かれます。



日本共産党が3月に提案していた新設中学校は、12月議会で市長が表明しました。さらに、わが党は、区画整理区域内での新設小建設も提案しています。児童生徒のかけがえのない9年間を保障するため力を集めましょう。

小児救急 持続可能な小児救急体制に 急がれる行政の支援

「赤ちゃんが夜中に突然のけいれん…こんな時に頼りになるのが小児救急病院です。市内で365日24時間小児救急医療を展開している東葛病院では、人口増にともない小児救急患者も右肩上がり、4千人を超えました。しかし、診療報酬が低く赤字構造、専門医の確保が困難など、事業の継続が難しくなっています。流山市の小児救急への補助金が今年944万円に増えましたが、近隣のどの市よりも少なく、とても『母になるなら、流山市』とは言えません。持続可能な小児救急体制の維持のために、今こそ、行政による支援強化が求められています。



道路照明の修理、改善
(美原3丁目)
植田 和子



木谷工業前交差点改良へ、
来年度予算で調査費計上
徳増きよ子



歯抜けのみすぼらしい植栽。
補植が実現(東初石)
小田桐たかし



産後ケア事業が
始まりました。
いぬい紳一郎

身近な要求実現